



月間報告書

September 2017

【勉学の状況】

私が留学している KISD(Köln International School Design: 写真 1) では、9月中旬に入学手続きがあり、本格的に授業が始まるのは10月からです。9月末にそれぞれの履修する授業が知らされて、私は短期間のデザインプロジェクトを3つと、映画のコンセプトを学ぶセミナー、ドイツ語の授業を履修する予定になっていました。来月から始まる授業が楽しみです。

新入生歓迎のイベントに参加したり、留学生の Welcome Party があって、他の学部の新入生やいろいろな国からの留学生と知り合うことができました。また、学校のイベントで2泊3日のアムステルダムへの旅行(写真2)があり、台湾・スペイン・コロンビアの子たちと同室で仲良くなることができました。

【生活の状況】

ドイツについてからまずしたことは家探しでした。予め1ヶ月間だけ Airbnb で部屋を借りておき、長期滞在先はドイツへ来てから探しました。インターネットサイトからアパートを探していたのですが、ケルンでの家探しはとても大変で何十通メールを送っても返信が来ないことがほとんどでした。運良く1ヶ所だけ連絡がとれたところがあり、下見に行かせてもらって即契約しました。広くて綺麗なアパートで2部屋あり、同じく千葉大学からの留学生の友達とシェアフラットできることになったのでとても安心です。

その後は市役所へ住民登録をしに行ったのですが、申請の書類に大家さんのサインが必要だったり、書類に不備があってもう1度行かなければいけなくなったりと苦労しました。VISAの申請や銀行の口座の開設には住民登録票が必要で、住民登録に時間がかかりまだできていないので早く済ませたいです。

ケルンでの暮らしは、ケルンは治安が良く街の人たちもフレンドリーなのでとても住みやすいです。ケルン大聖堂を見に行ったり(写真3)、晴れた日にライン川沿いを散歩したり(写真4)、いくつか博物館を見てまわったりしました(チョコレートミュージアム:写真5)。また、家で毎日夕食を作るのも楽しみの1つです(写真6)。スーパーでもチーズやハム等の種類がたくさんあって迷ってしまいます。ケルン中央駅にはアジアンマーケットがあり、普通のスーパーでも醤油やお米は買うことができるため日本食も作れます。

ドイツの学生には電車やバスなどの交通機関が無料で利用できるサービスがあり、隣町のボンへ観光に行ったり、Phantasia Land という遊園地に行ったりもしました。来月は遠出してドイツの他の都市へも行ってみたいです。



2



3



4



5



6

月間報告書

October 2017



【勉学の状況】

通常の授業が始まる前に、新入生用の Cologne Resources という3日間のWSがありました。12~3人程のグループに分けられてグループワーク・プレゼンを行いました。私たちのグループは新入生に向けた学校周辺のガイドとして、ランダムに楽しく行き先を決められるサイコロを作りました(写真1)。人数が多いためなかなか意見がまとまらないこともあり大変でしたが、discussionの良い練習になりました。



次の週は、留学生向けに Visual Sketch Explanation という授業がありました。図やイラストを用いたわかりやすいノートテイキングの方法や、情報の視覚的な整理の仕方を実践しました。記事を読んで、内容を1枚の紙にわかりやすくポスターのようにまとめ、最終日には教室に展示しました(写真2)。



また、工房実習が行われ、私は Metal Workshop で金属の加工方法を学びました(写真3)。金属板やワイヤーを機械で折り曲げたり溶接したりして作品を作りました。初めて使う機械もあって楽しかったです。KISDには材料ごとの工房があり、それぞれ専任の教員がいるため学生はいつでも工房を使うことができるととてもいい環境だと思います。在学中に活用していきたいです。

【生活の状況】

ドイツでは街路樹が黄色くなり気温も下がってすっかり秋になりました。日曜日はほぼ全てのお店がお休みなのですが、時々マーケットが開催されています。家の近くのフリーマーケット(写真4)へ友達と行き、洋服や雑貨を見てまわりました。日本にいる時はあまり古着など買ったことがなかったのですがこっちに来てからはマーケットや古着屋さんを巡るのが楽しみの1つになりました。

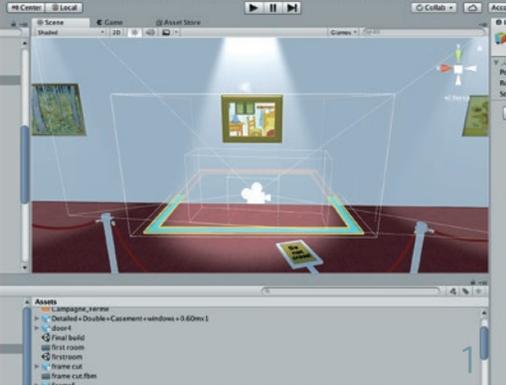


電車で2時間ほどのところに Schloss Drachenburg (Dragon Castle: 写真5) という古いお城があり、学校の友達と観光に行きました。丘の上にあるためケーブルカーに乗って行くのですが、自然豊かで秋の気配を感じられる素敵な場所でした。みんなカメラを持って来ていて、さすがデザイン学科生だなと感じました。あとで撮った写真を見比べると、それぞれの個性が出ていて興味深かったです。



授業が早く終わった日や週末は友達が私たちの家へ来たり、友達の家へ遊びに行ったりして、一緒にご飯を作ったりおしゃべりしたり映画を見たりしています。家で日本食パーティーをした時はうどん・卵焼き・豚肉の照り焼き・抹茶プリンを作りました。(写真6) 小麦粉からうどんを作るのは、留学生の友達に好評でした。自炊が楽しくて毎日充実した食生活を送っています。





月間報告書

November 2017

【勉学の状況】

今月は 2 週間の短期プロジェクトがありました。“Coded Space” という授業でバーチャル空間がテーマです。私たちのチームは VR ゴーグルを使って、絵画の世界に入り込むという新しい感覚を体験できるバーチャル美術館を作ることになりました。ゴッホの絵画が展示された美術館（写真：1）とゴッホが自身の部屋を描いた絵画 “Bedroom in Arles” の部屋（写真：2）を Unity という 3D ソフトで作成し、VR ゴーグルに反映させてプレゼンでみんなに体験してもらいました。（写真：3）観測者は最初、美術館の一室からゴッホの絵画を見ていますが、絵に近づいていくと額縁がひろがって絵の中に入ることができ、実際にゴッホの部屋に居るような感覚を味わえます。

自分の考えをチームメンバーに英語でうまく伝えられなかったり、初めて使うソフトでの作業だったりして大変でした。しかし作業を進めていくうちにお互いのやりたいことが分かってきて、最終的にはとても満足できる作品ができ、プレゼンでみんなにも楽しんでもらえたと思います。

VR ゴーグルは今回が初体験だったのですが、想像以上にリアルな体験ができて驚きました。実際に体験してみないと分からないこともあるんだなと思うと同時に、他のチームのアイデアも面白くて VR の可能性を感じました。

【生活の状況】

祝日や週末を利用して、ルクセンブルク、ミュンヘン、ベルギーに行ってきました。バスや電車で気軽に外国に行ける感覚にまだ慣れず、毎回ドキドキしてしまいます。

ルクセンブルクは城塞都市で、今でも古い城壁や橋が残っていて高台から見下ろすことができます。（写真：4）黄色い紅葉と歴史を感じさせる城壁が日差しに照らされてとても綺麗でした。

ミュンヘンでは、白ソーセージ+プレッツェルという伝統的な朝食を食べました。（写真：5）お湯で温めて皮をむいて食べる白ソーセージは、今まで食べたソーセージで 1 番美味しかったです。教会の塔へ登って景色を見たり、マーケットを見て周ったり、美術館巡りをしたりしました。赤い屋根の街並みが印象的で、同じドイツでもケルンとはまた違った雰囲気がありました。

ベルギーでは、2 泊 3 日でブリュッセル（写真：6）・ブルージュ・アントワープを観光しました。可愛いお店がたくさんあり、チョコレートやワッフルを始めとするスイーツがどれも美味しくとてもわくわくしました。街並みも可愛らしくて夜景が綺麗なスポットも多数ありました。日本では旅行先としてあまり有名でないベルギーですが、観光しやすいのですごくオススメです！

月間報告書

December 2017



【勉学の状況】

今月の最初の週には多くの短期や中期のプロジェクトが終わり、1日中プレゼンが行われる日がありました。展示ブースを作って作品を発表したり（写真：1）、講義室でプレゼンが行われたりしました（写真：2）。千葉大学ではあまり他の授業のプレゼンを見に行く習慣がなかったので新鮮でした。私が参加した短期プロジェクト“Future of Work”もプレゼンを行いました。このプロジェクトは TH Köln の他学科の学生と共同の集中ワークショップで、様々な分野の観点から未来の仕事について考え、新しい仕事や製品についての提案をしました。私たちのグループは、将来は機械化が進み多くの仕事が機械にとってかわること、人々がそれを恐れてしまうことを問題点と考え、未来の仕事の機械化に備えるための小学校での授業科目を提案することにしました。子供達に早い段階から論理的な思考やプログラミングなど機械の扱い方を教えて、簡単なコーディングや電子工作などで実践的に楽しくテクノロジーを学んでもらうことが狙いです。KISD（デザイン学科）では留学生が多いため、英語でディスカッションをすることが普通なのですが、他学科の学生たちは英語で話すことにためらいがあり、最初は話し合いがうまくいかずとても苦労しました。改めてここはドイツだった…と思い知らされました。また、デザインの学生とエンジニアの学生では考え方のプロセスやプレゼン形式に対する認識の違いがありなかなか大変でした。グループワークがうまくいくまでに時間はかかりましたが、他の分野の学生の観点や考え方を知ることができるとても良い機会でした。

【生活の状況】

12月になりクリスマスマーケットが始まりました！街がイルミネーションで彩られてわくわくします。各地のクリスマスマーケットをお目当てに、今月はドイツ国内を巡りました。ケルンでのクリスマスマーケットは、大聖堂とイルミネーションのコラボが素敵でした（写真：3）。他にもスケートリンクがある会場や学校の近くにも会場があり、学校帰りに友達と寄ることもありました。ドレスデンでは、巨大なシュトーレンが馬車に乗せられて街中をまわるパレードを見ることができました（写真：4）。世界でクリスマスマーケットが最も有名と言われるニュルンベルク（写真：5）では、メイン広場につながる道にも屋台が連なっていて町全体がクリスマスマーケットのようでした。それぞれの地域で雰囲気や特徴的な食べ物があったりしてとても楽しかったです。また、年末にはフィンランド旅行へ行きました（写真：6）。千葉大学からの他の留学生の友人たちにも会うことができとても楽しい旅行でした。

月間報告書

January 2018

【勉学の状況】

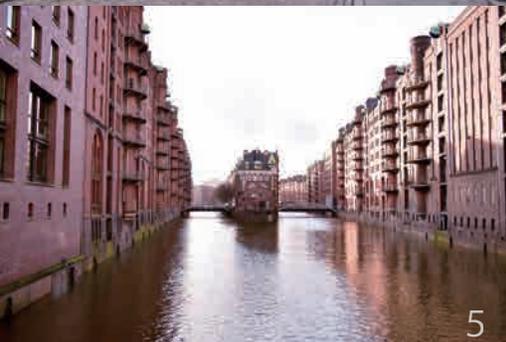
今月は通期のセミナーと短期のプロジェクトについて書こうと思います。Design Concepts in SF Movies というセミナーを取っていて、毎週交代でプレゼンをするのですが今月私の担当回がありました。このセミナーではSF映画を見てどのように「未来」をデザインしているのか分析します。未来のプロダクトはどの製品をもとにデザインされているのか、どのような行動が未来的なのかなど、ストーリーの面からではなくデザインコンセプトの観点から映画を鑑賞します。私は“in Time” という映画を担当しました。(写真：1) 2011年にアメリカで制作されたSF映画で、時間が通貨として使われている未来という設定がユニークです。人々の見た目の年齢が25歳どまり、まさに“Time is money” が体現された世界では社会構造が変化していたり、貧困層と富裕層で人々の行動に差があったりします。このような観点から映画を注意深く見たことはなかったので興味深かったです。

KISDでの最後のプロジェクトはUrban Wellbeingというサービスデザインのプロジェクトでした。都会に住む人たちはそれ以外の人たちよりもストレスを感じやすいという調査に基づき、Kölnの人たちのためになるようなサービスをグループで考えました。コンセプトを決め、街頭でインタビューを行い、どのようなサービスを提案するのか決めていきました。私たちのグループはKölnCoというコミュニケーションサービスを提案しました。(写真：2・3) 1週間という短い期間でしたが、サービスデザインのプロセスや手法がよく盛り込まれていて分かりやすいプロジェクトでした。

【生活の状況】

今月はポーランドのワルシャワとドイツのハンブルク、デンマークのコペンハーゲンへ行きました。ワルシャワでは戦後に再建された街(写真：4)やワルシャワ蜂起博物館を見てきました。もっと世界史を真面目に勉強しておけばよかったなあと思います。ハンブルクでは赤レンガ倉庫街(写真：5)を歩いてまわりました。倉庫街にあったミニチュアミュージアムが楽しかったです。コペンハーゲンでは北欧デザインが随所に感じられるおしゃれな街でした。デザインミュージアム(写真：6)も見応えがありました。留学へ来てから美術館や博物館に足を運ぶ機会が多くなりました。

次の留学先のVISA取得のためにフランクフルトへ行きました。揃える書類が多く分からないことばかりでしたが、先輩に話を聞いて無事取得することができました。帰りに少しフランクフルトを散策して、建物が興味深い美術館(写真：7)や可愛いカフェを見つけてちょっとした小旅行でした。



月間報告書

February 2018



【勉学の状況】

KISD での生活も今月で最後になってしまいました。

2月の初めに Exhibition Day があり、2日間様々なプロジェクトのプレゼンがありました。私たち留学生は、my time at KISD をテーマにこの semester で学んだことをまとめてプレゼンしました。(写真：1・2)

Working Group (委員会) についても書いておこうと思います。私は Gute Stube (KISD のカフェ：写真 3) を運営するグループに所属していて、毎週シフトに入っていました。コーヒーや紅茶を淹れたりスナックを用意したり、カフェの周りを掃除したりします。飲み物を買いに来た学生や先生たちと世間話をしたり、一緒にシフトの人と仕事の合間におしゃべりをしたりととても楽しい時間でした。Gute Stube をきっかけに仲良くなった人たちもたくさんいて所属して良かったなと思います。

KISD は留学生が多くて、みんなオープンマインドで話しやすい校風だと思います。この半年で授業でもそれ以外でも、議論したりおしゃべりする機会が多くあり、少し自分の英語に自信がもてるようになりました。

【生活の状況】

最終プレゼンが終わった次の週からフランスの大学の授業が始まるため、友達と最後の思い出作りをしたり引越しの準備をしたり慌ただしい日々でした。引越しの直前は Köln の一大イベント、カーニバルの期間でした。街中に仮装をした人があふれ、ビールを片手にお祝いします。(写真：4) カーニバルは1週間も続き、最終日にはパレードが盛大に行われ、デコレーションされたフロート(山車)や鼓笛隊や馬まで登場しみんなで盛り上がります。私も仮装して友達と見て回りました。街全体がお祭り騒ぎですごくいいことになっていましたがとても楽しかったです。

KISD での日々は本当に楽しくて、みんなとお別れするのが寂しかったです。仲良かった友達とお別れ会をした時に、手編みのヘアバンド(写真：4)をプレゼントしてくれてとても嬉しかったです。他にも別れ難い友達がたくさんできて、KISD で過ごすことができ良かったなと思います。学校でもお別れ会があり軽食やアルコールとともにおしゃべりしたり、それぞれの国の音楽を流して踊ったりしました。カーニバル期間中だったのでみんな仮装していて面白かったです。(写真：6) たくさん素敵な出会いがあり、たくさん素敵な思い出ができたこと感謝しています。いつかまた Köln を訪れたいです。



Monthly Report February 2018

勉学の状況

2 月後半からフランス、ナントでの生活が始まりました。最初の週には Methodology Workshop があり、他のコースの人と合同でグループワークを行いました。私たちのグループは、食べ物でひととひとを繋ぐことをテーマにスーパーのキャンペーンを提案しました。複数人が画面に触れることで指紋が認証されクーポンが表示されるインタラクティブ型のバス停広告と、それに伴うキャンペーンの仕組みを考えました。Desital Media コースがあるだけあってプレゼン方法の指定が動画だったことが新鮮でした。ここでは、コンセプトを決める前の調査やインタビューを重要視しているなという印象です。

生活の状況

引っ越してすぐにひいた風邪が長引き、家にひきこもりがちの日々でした。それでも通学中に見える家の近くの景色がとても綺麗で、良い街だなと思います。あたたかくなったらもっと街を散策したいです。春が待ち遠しいです。今月はボランティア団体の「なんとなくナント」にお世話になりながら、住まいや銀行の手続きなどを進めました。早く銀行のカードが届いてほしいです。



L'École de Design Nantes Atlantique のエントランス。市街地から外れた広々とした敷地に、平屋建ての校舎があります。校舎裏ではなぜか羊が放し飼いにされていて驚きました。



大学内の録音ブース。ワークショップの動画で使用する音声を録るために利用しました。録音機材が揃い防音もしっかりとしていて、設備が本格的です。



"Cooking Together Quest"

WS で提案したバス停広告。4 人集まるとスーパーで使えるクーポンがゲットでき、レシピももらえます。一緒に料理をして交流するきっかけを作ります。



Les Machines de l'île という博物館で機械仕掛けの象を見て来ました。巨大な象が動く様子は圧巻でした。他の展示物もスチームパンクな雰囲気が味わえて興味深かったです。

Monthly Report

March 2018

勉学の状況

3月になり本格的に授業が始まりました。メインの授業 Project Long と美術系の授業が2つ、座学が1つ、3Dソフトとカメラの講習とフランス語の授業があります。

Project Long は企業との共同プロジェクトで、外部企業と交渉や契約をするため専用のオフィスが学校にあることが新鮮でした。

生活の状況

母と妹が旅行でパリに遊びに来てくれて、久しぶりに家族と再会しました。パリを一緒に観光してたくさん話しました。足りなくなったものを日本から持って来てもらって助かりました。同じ時期に卒業旅行でパリに来ていた友達にも会うことができとても楽しい週末でした。

また、ポルトガルへも同じく千葉大学から留学中の友達と旅行に行きました。ナントはまだ寒いので、ポルトガルで一足先に春を感じてきました。リスボンの建物は全てが赤い屋根で高台からは可愛い街並みが一望できました。ユーラシア大陸最西端のロカ岬やリスボン水族館も訪れました。ご飯も美味しかったです。今月は家族や友達と会える機会が多く、リフレッシュできました。



Narrative Image

絵と絵の間の行間がもつ意味やストーリー性を考えながら、パートナーの子の自己紹介紙面を自分が書いたドローイングをコラージュして作っています。



Photography の授業では様々な環境下でのポートレートの撮り方を学びます。今回は小さな鏡を使って屋外で撮影しました。毎回新しい発見があって面白いです。



サン・ジョルジェ城から見えるリスボンの街並み。リスボンは急な坂や階段が多くて歩くのが大変ですが、路面電車やバスがよく整備されていて観光しやすかったです。



ナントで期間限定で開催されていた Dali の Exhibition を見て来ました。有名な溶ける時計の彫刻をはじめとした立体作品が多数あり、美術館とは一味違って興味深い展示でした。

Monthly Report

April 2018

勉学の状況

早いもので、授業期間が半分過ぎました。メインの授業であるロングプロジェクトは、調査・分析をしてコンセプトを決める Phase1、コンセプトに添ったデザイン案を発表する Phase2、最終デザインを提案する Phase3 の3段階にわかれています。現在は Phase2 のプレゼンに向けて準備しています。授業の進め方が独特だったりペアの子と意見が合わないこともあったりして苦労しています。納得いくものができるよう頑張りたいです。

普段の授業とは別に、外国から講師を呼んで行われるワークショップウィークがありました。色と光に着目して学校内にインスタレーションを作りました。試行錯誤しながら形にしてくのが楽しかったです。

生活の状況

中旬から急に暖くなり、日差しも強くて春をとばして夏がきたみたいです。暑いので友達とプールに行ってきました。

週末に世界遺産のモンサンミッシェルへ行ってきました。ナントからはバスや電車で3~4時間で行くことができます。朝・昼・夜と姿が変わって行ってとても綺麗でした。



ケルンに引き続き、ナントでもカーニバルのパレードがありました。街中で紙吹雪が舞って賑わっていました。出店や移動遊園地もあり、絶叫マシンに乗ってきました。



インスタレーションを作る前に、色や光の当たり方による変化についての講義とエクササイズがありました。1枚の絵や写真から色を拾ってカラーパレットを作り、平面構成を行いました。



カラーパレットの色彩が似ている人同士でグループを作り、校舎内をまわってインスタレーションを設置する場所を決めました。私たちのグループはカラーパレットの色から、空の青色と反対色のくすんだ赤が見える渡り廊下を使い、廊下の左側と右側に見える空を繋ぐインスタレーションを作りました。太陽の位置によって空の色の濃度が左右で異なることに目を向けてもらうことが目的です。

勉学の状況

ロングプロジェクトは Phase2 のプレゼンがありました。クライアントの意見ははっきりとは聞けず、先生たちのコメントも納得できるものではなくもやもやしています。グループワークもペアの子があまり仕事をしてくれず他にも思うところがあって、授業中に言い争いになってしまい、別々に個人ワークとして進めることになりました。普段あまり怒らないので口論になって自分でも驚きました。結果として良かったのかはわかりませんが、言いたいことを言えたことは後悔していません。

生活の状況

いくつかの授業が終わって連休ができたので、1 週間のバカンスがあったりして、今月は旅行づくしでした。イタリアでは学校の友達と一緒にミラノ・ヴェネチア・フィレンツェ・ローマを巡りました。ロンドンでは大英博物館へ行ったりミュージカルを見たり、芸術鑑賞を楽しみました。スペインでは、バルセロナでガウディの建築を見たり、マラガの海辺やミハスの白い街並みの写真を撮ったり、マドリッドで闘牛を見たり、充実した旅でした。



ロングプロジェクトでは、庭のテラス用の床板のメーカーにむけて、プロモーションスペースの提案をしています。私たちは五感を使ったブースをコンセプトに 3 つのデザイン案を提案しました。



Visual Arts

Invisible City というテーマで、各々が思い描く街を作品として表現する授業でした。私は水の都の文献を参考に、ヴェネチアの過去と現在と未来の姿を反映した地図を描きました。



ヴェネチアのゴンドラから。洗練されたミラノもカラフルなヴェネチアも、中世の雰囲気が残るフィレンツェも古代遺跡と現代建築がまざるローマもそれぞれの魅力があって素敵でした。



サグラダファミリアのステンドグラスと、ステンドグラスから差し込む光が繊細な意匠の柱や天井に反射するのがとても綺麗でした。完成したらまた訪れたいです。

Monthly Report June 2018

勉学の状況

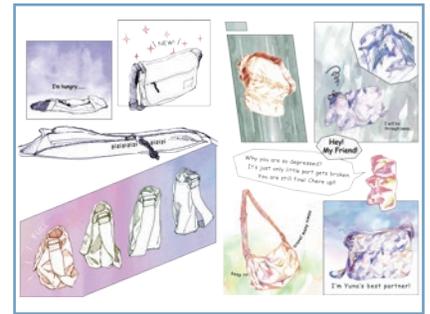
ロングプロジェクトの最終プレゼンが終わり授業が全て終了しました。このセメスターは、私の在籍するコースはインテリアコースであるにも関わらず、専門分野に直接関連する授業が少なくて残念でした。プロジェクトの先生ともうまくいかず、友達にとっても支えられました。留学生全員不満をもっていて、この学校のプログラムには疑問を抱きます。プロジェクトでは、クライアントの企業と実際に関わることができ、うまくいかないことも多かったですがいい社会勉強になりました。

生活の状況

今月の初めにモロッコ旅行へ行きました。建物や文化や風習、食べ物も日本やヨーロッパとはかなり違なり面白かったです。ナントより北西のフランスブルターニュ地方へも旅行へ行きました。のどかで景色が綺麗で素敵な場所がたくさんありました。この1年でたくさんの国を見て回って見聞が広がりました。今までヨーロッパ、とひとくくりの認識だった国たちが、それぞれ個性があるんだと分かりました。帰国後もこの1年の経験を生かしていきたいです。



最終プレゼンでは、ベンチ型のプロモーションスペースを提案しました。顧客が製品（ウッドデッキ）に触りたくなることを第一に考えました。企業のロゴの木がモチーフで、LEDライトが季節の移ろいを表します。



Narrative Image

自分が普段使っている鞆をスケッチして、それらを使って鞆のストーリーを作るという課題でした。物語に合わせてスケッチしたり、レイアウトを考えたりするのが楽しかったです。



モロッコにある青い街シャフシャウエン。昔ユダヤ教徒によって空や海を表す神聖な色として青く塗られたらしいです。フェズよりものんびりしていて過ごしやすかったです。



ブルターニュ地方のロクロナンという街。中世の石造りの家が数多く残っています。教会やお土産屋さんもあります。フランスの田舎町はのどかで、緑の草原や海がとても綺麗でした。